

# ニュースレター No. 3

— 2018年10月21日（日） —

## 【 概 要 】

平成30年10月21日（日）に今年度、最後の「ありみね高校生学びの森」を15名の高校生と10名の先生方を講師にお迎えして開催しました。

動植物の観察などの学習を通じて、有峰の自然を体感していただくため、高校生と講師が一体となって学びました。

当日は、紅葉も見ごろとなった秋晴れの好天に恵まれての活動となりました。当初の計画を変更して、午前中は植物班と動物班合同で、有峰湖岸での魚類調査と東西半島遊歩道での動物の痕跡調査及び植生調査をしました。

午後からは動物班と植物班に別れて、動物班は有峰記念館で、自動カメラの画像から動物の生息を確認しました。植物班は猪根山遊歩道入口付近で、ブナの生長調査とブナ林の樹冠を調査しました。

## 水質検査

- ・宝来島対岸の湖畔で、有峰湖の水質検査を行いました。水温は15.3℃、PH7.2～7.4でアルカリ性であることが分かりました。
- ・パケットテスト（水質調査の方法）を行いました。これは水の中の有機物の量を調べるもので、水の汚れ具合の指針となるものです。1以下の値だと綺麗とされ、8以上の値では汚れているとみなされます。湖水に試薬を入れ5分待ちました。結果、CODの平均値は4となりました。（CODとは、水に含まれる有機物と酸素の分量を比較し、水の水質を数値であらわしたもので数値が大きいほど水は汚れている）

## 魚類調査

- ・有峰湖畔や湖に流れこんでくる川で、魚の生息してそうなところに網を入れて魚を採取しました。
- ・結果、イワナの幼魚を1匹、死んだワカサギを1匹捕りました。
- ・講師の先生から、イワナは地元の魚だが、ワカサギは寒暖や汚れた水にも強いので放流されたものであることや、生息するトミヨは氷河期の生き残りであることを説明されました。

#### 哺乳類調査

- ・今回は、湖畔での動物の痕跡は確認できませんでした。

#### 植生調査

- ・ブナ、ミズナラの生長速度の違いを教えてもらったり、木の実を観察しました。
- ・標高差の違いによる植生の変化や、尾根や谷筋での植生の違いなども聞きました。
- ・ブナの成長調査のために猪根山遊歩道を散策し、数年前から調査を行っている場所の樹冠を、魚眼レンズで写真撮影しました。

#### クマ棚調査

- ・残念ながら今年のクマ棚を見つけることは出来ませんでした。一昨年見つけたクマ棚を見ながらクマの生態の話を知りました。

#### 野外カメラでの哺乳類調査

- ・野外に3台（内1台は台風時に倒れ水没して壊れてしまった）設置しておいたカメラの画像をプロジェクターに写し出して動物の生息を確認しました。
- ・県庁舎裏のカメラにはキツネ、アナグマ、イノシシ、ニホンザル、カモシカが映っていました。
- ・猪根平のカメラにも同じくキツネ、アナグマ、イノシシ、ニホンザルが映っていました。